

# 道路事業

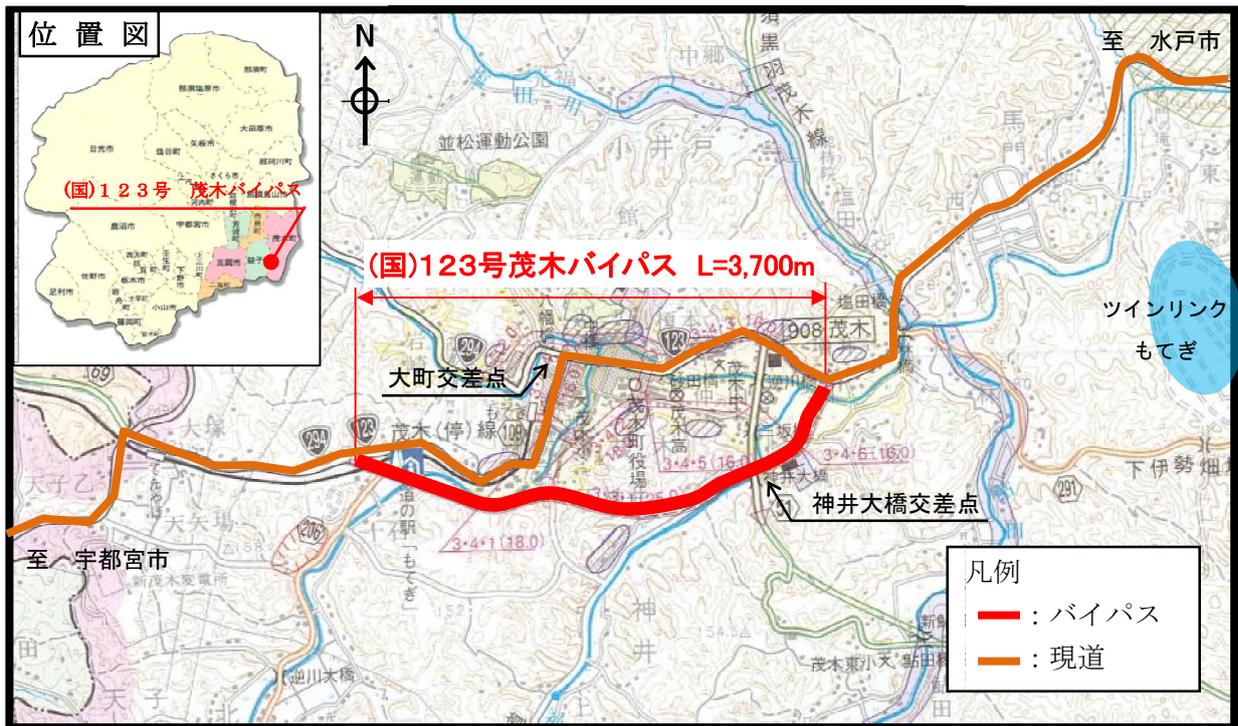
## 一般国道123号（茂木町 茂木バイパス）

（平成22年3月供用）

### 1 事業概要

一般国道123号は、宇都宮市を起点とし、益子町や茂木町を經由して茨城県水戸市を終点とする幹線道路で、栃木・茨城両県の県都を結ぶ重要な道路です。

茂木バイパスは、茂木町茂木から同町増井までの3,700m区間において、バイパス整備を行うものです。



- ◆事業名：国庫補助道路改築事業
- ◆事業箇所：一般国道123号 茂木バイパス（茂木町茂木～増井）
- ◆事業主体：栃木県
- ◆全体延長：3,700m
- ◆幅員：23.0m（車道13.0m、歩道3.5m両側）※暫定2車線供用
- ◆総事業費：約104億円
- ◆事業期間：平成4年度～平成21年度

標準横断面図



## 2 事業の目的・必要性

本事業区間の現道は、茂木町市街地においてカーブやクランクが連続し幅員も狭く、交差道路も多いことから、朝夕の通勤通学時間帯や行楽シーズン、ツインリンクもてぎでのイベント開催時において市街地部に渋滞が発生し、自動車の通行や地域住民の生活環境の悪化が懸念されていました。

このため、栃木県では「安全で円滑な交通の確保」、「地域活性化の支援」、「市街地部の生活環境の改善」を目的に、平成4年度よりバイパス整備に着手し、平成22年3月に全線区間を供用しました。

## 3 事業の整備効果等

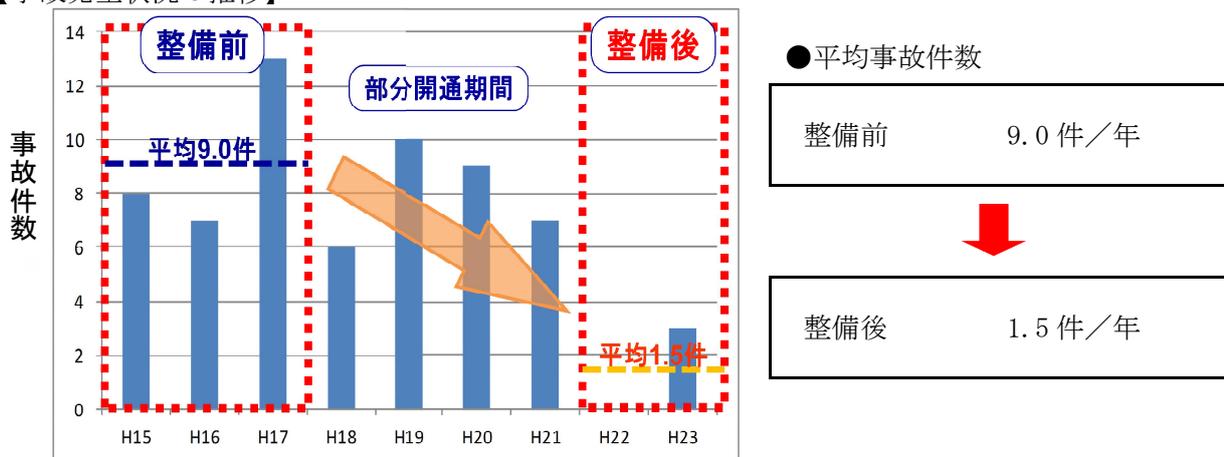
＜費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化＞

- ・事業費 再評価時 約105億円 → 完成時 約104億円
- ・事業期間 再評価時 平成4年度～平成20年度 → 完成時 平成4年度～平成21年度  
※遅延した理由：用地取得の遅延による。

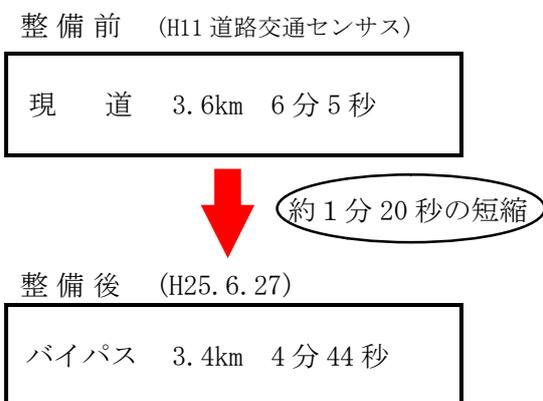
＜安全で円滑な交通の確保＞

- ・バイパスを整備したことにより、事故件数が減少し、安全な交通を確保することができました。
- ・バイパスを利用することにより、カーブやクランクの多い茂木町市街地内を走行する場合と比較して、通過時間が短縮され、車両の円滑な交通を確保することができました。

【事故発生状況の推移】



【通過時間】



【バイパスの整備状況】



<地域活性化の支援>

- ・ツインリンクもてぎで開催されるイベント時において、市街地部に通過交通が流入することによる交通渋滞が発生していましたが、バイパスを利用することにより目的地へのアクセス強化が図られ、地域活性化に大きく貢献しました。

【イベント開催時の交通状況】



【ツインリンクもてぎでのイベント開催の様子】



<市街地部の生活環境の改善>

- ・自動車交通量の約7割、大型車交通量の約9割がバイパスを利用しており、市街地部へ流入していた通過交通がバイパスへ転換され、通勤時間帯及び行楽シーズンやイベント開催時における市街地部の渋滞の解消が図られるとともに、市街地部の生活環境の改善が図られました。

【自動車交通量】

整備前（H11 道路交通センサス）		整備後（H25.6.27）	
現道	7,393 台/12時間 [内 大型車 1,160 台/12時間]	現道	2,127 台/12時間 [内 大型車 105 台/12時間]
		バイパス	5,332 台/12時間 [内 大型車 938 台/12時間]

【市街地部の交通状況】

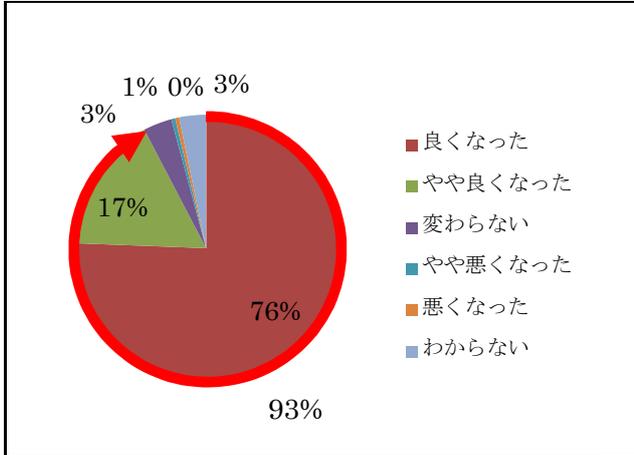


## 4 地元の声

一般国道 1 2 3 号茂木バイパスの整備効果を検証するために地域住民や企業、学校などにアンケート調査を実施しました。

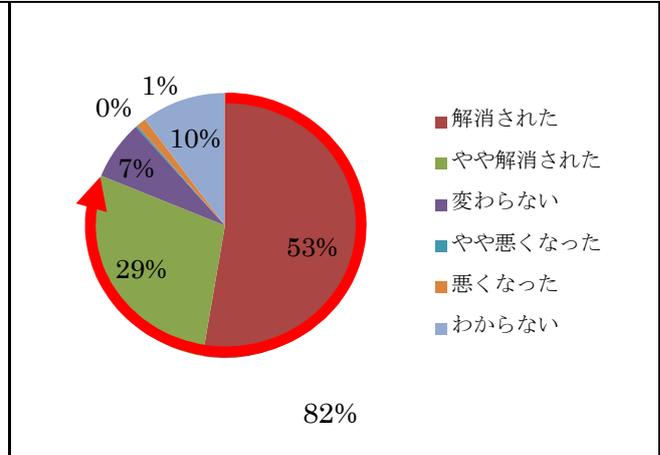
(回答数/配布数：438/800 件 回答率 55% ※有効回答数は設問により異なります。)

(1) 走りやすさについて



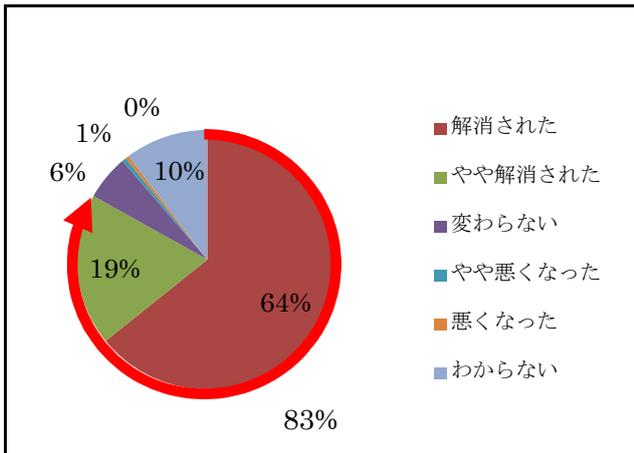
約 9 割の方が、走りやすくなったと感じています。

(2) イベント開催時等の渋滞について



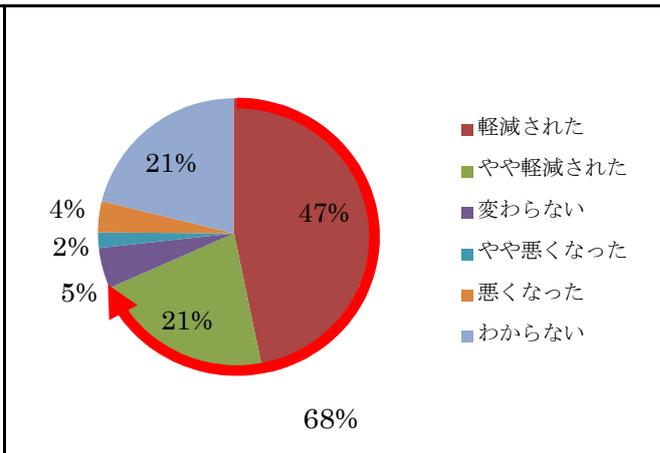
約 8 割の方が、渋滞が解消されたと感じています。

(3) 日常の渋滞について



約 8 割の方が、渋滞が解消されたと感じています。

(4) 市街地部の沿道環境(騒音・振動等)について



約 7 割の方が、軽減されたと感じています。

### (5) 自由意見

- ・バイパスができたので現道の自動車交通量が減り、道路横断が楽になった。夜間の騒音も減り大変助かっております。(60 歳以上女性)
- ・ツインリンクもてぎでイベントがある時に、町内は安心して通行出来るようになり、バイパスができて良かったと思っています。(60 歳以上女性)
- ・海水浴シーズンやツインリンクもてぎでのイベント開催時の渋滞解消になり、大変役立っています。(20 代男性)
- ・町なかを通らず移動ができ、交通事故抑止にもつながっていると思う。(40 代男性)
- ・水戸方面に行きやすくなったと感じています。また、バイパスのおかげで道の駅にも多くの観光客がくるようになり、町に活気が出てきたと思っています。(30 代男性)
- ・便利になったことは良いと思いますが、町の中が寂しくなりました。(50 代男性)
- ・路面凍結状態が見受けられるため凍結防止策・適切な対応をお願いします。(50 代男性)

## 5 事業による環境の変化

特になし

## 6 事業を巡る社会経済情勢の変化

・平成 8 年 7 月 みちの駅 「もてぎ」オープン（平成 24 年度来館者数 約 1,347 千人）

## 7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

バイパスを整備することにより、安全で円滑な交通を確保すると共に地域活性化の支援、市街地部の生活環境を改善することができました。また、交通量調査及びアンケート調査結果においても事業目的の達成を確認することができたため、今後の事後調査の必要性はないと考えています。

改善点としてアンケートで要望のあった、冬期の路面凍結の対応につきましては、今後適切な維持管理を実施し、安全な交通の確保に努めて参ります。

## 8 同種事業への反映

アンケート調査の結果、「冬期の路面凍結について凍結防止策及び適切な対応をしてほしい。」等の意見を複数頂きました。これは、バイパスの一部区間が日陰となることによるものと考えられるため、今後、同種事業の実施においては地域特性を設計・施工に反映する等留意して参ります。

栃木県 県土整備部 道路整備課

T E L : 028-623-2410 F A X : 028-623-2417

H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : [doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp](mailto:doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp)

